

決算審査における事業評価の結果の反映状況

1 事業名等

事業番号	3	事業名 (実施計画名)	新たな自治に向けての協働啓発事業
事務事業名 (業務棚卸評価)	協働まちづくり普及啓発事業		
担当部課	総務部市民自治推進課		

2 決算審査における事業評価の結果

議会評価	改善・効率化し継続
理由	現状の事業に対しては、今年度予算措置がされていないことから終了と考えるが、市民協働の必要性から改善して継続を求める。
附帯意見	市民活動団体との協働推進事業への取組みは、行政の協力により、市民意識が高まるようにする努力が必要である。

3 評価結果の反映状況

事業費	23年度予算額 (案)	(参考) 22年度予算額	(参考) 21年度決算額
	590 千円	0 千円	1,586 千円
議会評価に対する考え方	<p>市民との協働は重点施策であり、主体的にまちづくりに参加していただける市民の輪を広げていくため、21年度において作成した啓発資料の活用と市民活動サポートセンターとの連携等により普及啓発を継続していきます。市民討議会については、市民参加手法として有効性をさらに検証していくため、開催経費を予算計上していきます。</p> <p>なお、市民討議会に関しては、22年度において別科目で予算計上し、22年7月に開催しています。</p>		
今後の事業展望	<p>啓発用DVDについては、職員説明会、アイデアコンテスト、公募説明会等で活用し、サポートセンターや図書館で貸し出しを行っていますが、さらに周知を図るとともに、現在外部リンクにより提供しているホームページについてはCMS版を23年3月までに公開します。市民討議会については、23年度における開催テーマや日程を実行委員会の中で検討していきます。</p>		